

産学共同 プロジェクト 概要

ららぽーと立川立飛と武蔵野美術大学では、産学共同事業として、ららぽーと立川立飛 3 階の共用空間の家具、廊下壁面および館外オブジェのデザインを行いました。ららぽーと立川立飛のコンセプト「& Garden Tachikawa」を基に、訪れた方が新しい発見をし、心に残る感動体験を得られること、地域の皆様の憩いの場となることをテーマにしています。LaLaport という文字には「art」が隠れています。ららぽーと立川立飛と武蔵野美術大学の美術を通じたコラボレーションの成果をご覧ください。

工芸工業デザイン学科

立飛飛行場があった立川立飛の場所を象徴する「Terminal」をコンセプトに家具、休憩スペース、廊下壁面のデザインを行いました。

きになるまち
櫻井結実子



買い物はよりみち・みちくさの連続です。よりみち・みちくさの合間にホッと一息つくための休憩スペースにおいても、よりみち・みちくさのワクワクを体験してもらえるように、誘惑がいつぱいの「街角」をデザインしました。家形チェアの屋根で休み、椅子の街並みを散歩し、商品がディスプレイされたウィンドウでは新しい発見をすることができます。



Fancy Room
上野唯華



実際のスケールより大きくデザインされた壁面の絵や 2 次元のイラストがそのまま 3 次元に表現された空間が、絵本の中に迷い込んだような気持ちにさせてくれるデザインにしました。買い物の合間もワクワクしてもらえたら幸いです。

みどりの丘
矢野陽菜



Terminal とは、休息のため、待ち合わせのため、様々な目的をもった人が集まる場所であると考え、ららぽーと立川立飛の全体イメージである緑・大地・風・光を感じる自然空間として「みどりの丘」をモチーフに空間を構成しました。自然の中でピクニックをしているようにお客様がくつろげる緑のベンチに加え、丘にまっすぐに立つ木のオブジェをデザインしました。

空間演出デザイン学科

「Terminal」というコンセプトから、人々の旅立ちを連想し、飛び立つ「空」をテーマに家具、休憩スペース、廊下壁面のデザインを行いました。



紙ヒコーキベンチ
青木クロイ、蔵方浩子、萩野美結、山下美咲

大人も子どもも一度は作ったことがある紙飛行機をモチーフにベンチを制作しました。数機が連なる紙飛行機はサイズだけでなく、傾きも変えることによって空をふわりと飛んでいく紙飛行機らしさを表現しています。紙飛行機の裏の色は、空にかかる虹の光を表しています。



sky
青木クロイ、蔵方浩子、萩野美結、山下美咲

「Terminal」という言葉は空港を連想させます。空港は旅への出発点であり、思い出への出発点でもあります。ららぽーと立川立飛が、訪れる方の思い出の場所になるようにとの思いを込めて、学生だけで作るのではなく、地域の方と一緒に壁面を作り上げることを考えました。一本の長い廊下にみんなで押したスタンプは、端から朝焼け、昼間の空、夕焼けと美しく表情を変える空を表現しています。休憩エリアには空の色のスツールを配置しました。

mokmok
丸山実優、高安里奈、友松菜由、坂元悠

キッズウェアの店舗前という場所に合わせ、家族みんなで楽しめる空間を作りました。雲をイメージした白い椅子は、色々な動きに対応するため、座ったり、寝ころんだり、遊んだり、子どもにとっては楽しい遊び場、大人にとってはリラックススペースとして機能します。



丘陵状のベンチや
遊具を備えたベンチの提案も行いました。



建築学科

ららぽーと立川立飛の見どころのひとつである緑あふれる 1 階芝生広場に設置するオブジェを制作しました。



視差の誘引
谷口 和音

誘引とは、人々の興味を引き込むことを意味します。一見、シンプルなステンレスの角柱に見えるオブジェですが、規則的な穴があいたステンレス板を複数重ねることで、見る角度により「モアレ」と呼ばれる模様が現れます。訪れる方の視線を引き込み、モアレに気づいていただくことで、新しい発見を提供するオブジェです。

○制作過程

素材の可能性を学ぶ授業の中で、ららぽーと立川立飛の植栽に設置するオブジェ提案という課題に取り組み、一枚のステンレス板で何を表現できるかを考えました。ステンレスに穴があいたパンチングメタルのパターンサンプルを集め、柱にして、見え方を検証していくうちに、規則的に穴があいたステンレス板を重ね合わせると模様が現れることがわかりました。穴の大きさ、形、ステンレス板の厚さ等を変えて、数十種類の異なる模型を制作し、モアレの現れ方を検証し、3つのパターンまで絞り込みました。



担当教員

武蔵野美術大学 工芸工業デザイン学科
伊藤 真一 教授
志村 美治 客員教授
足立 正 講師

武蔵野美術大学 空間演出デザイン学科
五十嵐 久枝 教授
北川 陽史 講師

武蔵野美術大学 建築学科
鈴木 明 教授
砂山 太一 講師

「sky」を除く実作品は2016年3月までに
完成お披露目イベントで発表・設置予定です。